

学 年	教科等	題材名	日 時
第5学年	家庭科	生活を支える物やお金（第4時）	令和8年2月6日（金）

1 本時の目標

目的や状況に合った食材を選ぶために値段、分量、賞味期限等の観点を比較しながら、選び方、買い方を考えることができる。

2 指導過程

学習活動及び学習内容（★は評価にかかわるもの）	「自律的に学ぶ」ための手立て
<p>1 前時をふりかえり、本時のめあてを決定する。</p> <p>○ 卵を選ぶときの観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「値段が安い方がお得な気がする。」 ・「賞味期限が長い方が、便利な気がする。」 ・「産地が分かっていると安心だな。」 <p>等</p> <p>○ 本時のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>スイートポテトを作るための、サツマイモと牛乳の買い方について考えよう。</p> </div> <p>○ サツマイモと牛乳を買うときの条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金額は、600円以内にする ・ 買物をした日に調理をすること <p>2 値段、分量、賞味期限等の異なる数種類のサツマイモと牛乳のなかから、自分がよりよいと思う選び方、買い方とその理由を考える。</p> <p>○ 自分がよりよいと思う選び方、買い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぼくは、A（値段が安くて量が多い）のサツマイモと、B（賞味期限が長い）の牛乳がいいな。」 <p>○ 理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「値段が安くて、量が多いとお得な感じがして嬉しい気持ちになるから。牛乳は、賞味期限が近い物は安全面が心配だな。賞味期限が長い方が安心する。」 <p>等</p> <p>3 サツマイモと牛乳を選ぶための観点について仲間と比較・検討し、グループに合った選び方、買い方を決定する。（★）</p> <p>○ 選ぶための観点（対話例）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぼくは、賞味期限が長いBの牛乳にした。賞味期限が短い牛乳は、少し心配だ。」 ・「わたしは、賞味期限が短いCの牛乳にした。わたしたちは、買ってその日に使うから期限が短い牛乳でも大丈夫だよ。それを選択する方が他のお客さんや、環境によさそうな気がする。」 ・「確かに…。ぼくたちは、買ったその日に使うから、別に賞味期限が短くてもよいのかもしれないな。」 </div> <p>○ グループに合った選び方、買い方</p> <p>4 本時のふりかえりを行う。</p> <p>○ 自分にとってよりよい選び方、買い方（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これまでは、賞味期限が長い物の方が安心できるから、よいと思っていたけど、仲間と対話したことで早く使うことが決まっている場合は、賞味期限が短い物を買うことが、環境のためによいということが分かった。」 	<p>○ 前時の学習プリントに記述していたことを共有することで、食材を選ぶときの観点は複数あることを想起することができるようにする。</p> <p>○ スイートポテトを作るために必要な材料を提示しておくことで、卵以外のサツマイモと牛乳を買う必要性に気付き、本時のめあてを意識することができるようにする。</p> <p>○ 値段、分量、賞味期限等が異なる数種類のサツマイモと牛乳の写真を提示し、自分がよいと思う食材を選ばせることで、それぞれの観点の特徴に目を向けることができるようにする。</p> <p>○ 自分がよいと思った理由を考えさせることで、これまでの買物経験や既習を想起しながら、日頃の買物をする際に、自分が大切にしていることについて見つめ直すことができるようにする。</p> <p>○ グループの仲間と対話する場を設定することで、値段、分量、賞味期限等の観点の、プラスな面とマイナスな面に気付き、商品に対して、多面的な見方や考え方ができるようにする。</p> <p>○ 教室の中央に、実際にサツマイモや牛乳、生産者の思いに関するパンフレット等を置いておくことで、自分たちに必要な情報を収集することができるようにする。</p> <p>○ グループでどのような話し合いが行われたかについて全体で共有しながら観点の特徴を整理することで、商品の新たな見方について気付くことができるようにする。</p> <p>○ 「仲間と話をして、新たなことに気付いた」等、仲間との対話によって選び方について考えが深まったことを記述している子どもを意図的に指名することで、対話のよさに気付くことができるようにする。</p>

3 本時の評価規準

目的や状況に合った食材を選ぶために、仲間と対話しながらそれぞれの観点の特徴に気付き、グループに合った選び方、買い方を考え、判断・決定している。(思考・判断・表現)【発言分析・記述分析】

4 板書と子どものふりかえりの言葉



これまでは、賞味期限は長い方が安心で安全だからよいと思っていた。しかし、今日は〇〇さんの言葉を聞いて、賞味期限が短いと安く買えることがあることや、食品ロスを防ぐことができるということが分かった。買うときに、何を重視するかで買い方が変わることが分かった。【子どものふりかえりの言葉】

5 指導講評

宮崎県教育研修センター 才名園 栄津子 副主幹

- 子どもの思いを把握したうえで授業を構成していたため、子どもが「自律な学び」を実現できていた。また、「スイートポテトを作るための食材を選ぶ」という目的意識をもつことができているからこそ、対話に深まりが見られた。その際、「値段」を見て商品を選ぶ子どもは多いが、「賞味期限」を意識している子どもが少ないなどの、実態を事前に把握したうえで、どの商品を提示するかを教師自身が吟味することが重要である。子どもの思いだけで学びを進めるのではなく、本題材のねらいと、子どもの実態がより自然に結び付くための手立てを教師が考えていくことが、「自律的な学び」には欠かせない。
- 牛乳の選び方を考える場面では、「調理をするだけではなく、牛乳を飲みたいから多い量にしたい。」という子どもがいた。このように、実際に買物をする場面では、買った後どのように使うかというところまで含めて考えることが重要である。そのため、本時の学びは今後の生活の場面にも生きるだろう。
- 対話をする相手をグループの仲間と限定していたが、より多くの考えに出会うためには、限定せずに自分が聞きたいことを聞きたいときに聞きたい人に聞けるという環境をつくっていくとよりよいのではないかと考える。自由度のある対話があると、主張し合うだけではなく仲間とともに最適解へ近付くことができるのではないだろうか。

6 考察

【研究内容1：自分にとっての「生活の営み」の意味を見いだすための、多面的な見方や考え方ができる対話の在り方】

値段、分量、賞味期限等が異なる数種類のサツマイモと牛乳の写真を提示し、自分がよいと思う食材を選ばせたことで、子どもがどの商品を選ぶかについて葛藤する姿が見られた。その際、葛藤することで「おいしく食べたい」「これまで買ったことがある商品に似ている」等、目標に立ち返ったり、経験を想起したり（省察）する姿が見られた。また、考えの異なる仲間と対話をしたことで、「賞味期限」等のプラスな面とマイナスな面に目を向け、考えを広げていく姿が見られた。その結果、ふりかえりの時間のなかで、これまでは考えていなかった「賞味期限が短いことのよさ」を見いだすことができている。今後は、子どもが考えの異なる仲間と主張し合うだけでなく、共に最適解へ近付けていくための手立てを追究していく必要があることが見えてきた。